

国家基本問題研究所 第4回「国基研 日本研究賞」に2氏

米マイアミ大学教授(政治学)。中国、米防衛政策、国際関係などについて講義を行っている。アメリカ国家安全保障局(NSA)の分析官への講義も担当。ウェルズリー大学で学士、ハーバード大学で修士、博士号を取得した。米国書画会館の元福井東担当上席研究官で、海軍作戦部長のアジア政策顧問や、連邦議会が設立している米中経済安全保障調査委員会の委員も務めている。「中国の4000万人 少数民族と中華人民共和国への統合」(ハーバード大学出版)など著書多数。受賞作品として「中華帝国と旭帝國」(オックスフォード大学出版)は最新作。夫の故エドワード・ドレイヤー博士も中国の専門家で、同じマイアミ大学の教授を務めた。



日本研究賞

ドレイヤー氏は「中国と日本、ともに世界第1、3位の大國として、問題を解決することは可能だ」と確信している。結論で、「両者は、実際の衝突が起きたときに、互いに損失を大きいくらいに、しかし、理屈で互いに離れられないことを認識している。(両者の)感情が、合理的な政策を許せる限り、武力衝突を恐れてはいる」と述べた。

ム、安全確保、教育をはじめとする国家的課題に取り組み、日本民間シンクタンクの活動を行って、法人「国家基本問題研究所」(櫻井よし)理事長)が、外国人による優れた日本研究を表彰する第4回「日本研究賞」(基幹研究賞)の受賞者2名を選出した。

「ライバル」の歴史ひもとく

しい。これは両者の危機管理能力に依拠するが、こうした自制心を養っていくことで道は開けてくる」と提言した。

自虐史観から脱却を
1964年に来日したベン
リー・スコット・ストラクス 氏 や、英國だけでは
明そのものが衝撃的

自虐史観から脱却へ

最終章では「日本人は自らの歴史に誇りを持つべきだ」とし、自虐史観からの脱却を強く訴えている。

平成五日 下ノイキ一氏記念講演会

日時 2017年7月5日(水)
午後3時~午後5時(開場午後2時)
場所 イノホール(東京都千代田区南幸町2の1の1
飛野ビル4F)
会費 3000円(一般)、1000円(国基研会員)
※当日会場でお申込みはできません。
申し込み方法【記念講演会参加希望】と明記の上、氏名
(国基研会員は会員番号も記入)、郵便番号・住所、
電話番号を記載し、はがきもしくはFAXでお申し
込みください。参考券を発送いたします。定員(450
人)に達し次第締め切ります。
申し込み期限 6月28日(月)必着
〒102-0093 東京都千代田区平河町2の8の10
平河町駅川ビル3階 公益財団法人 国家基本問題
研究所 S係
FAX 03-3222-7821 URL <http://jinf.jp>

受 ジューン・トーフル・ドレイヤー氏

現代までに躍り出る尖閣諸島・沖縄、そのつま時に並んで形で広がる、現れる中國の対立、軍事、臺灣などを、國当局側が、日本が戦争責任を十分に認めること、原凶があるとして参りに認める、ことの原因があるとしている」と、火種はいつも同じ場所であつて、いつか必ず燃え上るのです。世界平和の為に、この火種が代々傳へていけば、

九十年代中国文坛

氏は「ファニーシャル・タイムズ紙」をしている。また、東京裁判の判決で、「日本が罪を犯すなら、歐米が植民地支配の方へアーリカ人族迫害も同様に」としている。

今日必做

- 51 -

元ニューヨーク紙東京支局長ヘンリー・スコットによれば、「戦争においては、大戦においては、常に原爆をもつて、それを空襲で多大の被害をもたらす手段をもって、連合軍が日本に勝利するに寄与する」。これは、侵略のために、日本が何をやったかのではなく、日本が何をやったかによって、連合軍が日本を攻撃するにあたる。つまり、連合軍が日本を攻撃するにあたる。つまり、連合軍が日本を攻撃するにあたる。つまり、連合軍が日本を攻撃するにあたる。

日時 2017年7月5日(水)
午後3時～午後5時(開場午後2時)
場所 イノホール(東京都千代田区内幸町2の1の1
飯野ビル4F)
会費 3000円(一般)、1000円(国基会員)
※当日会場でのお申込みはできません。
申し込み方法【記念講演会参加希望】と明記の上、氏名
(国基会員会員番号も記入)、郵便番号、住所、
電話番号を記載し、はがきもしくはFAXでお申し
込みください。参加券をお送りいたします。定員(450
人)に達し次第締め切ります。
申し込み期限 6月26日(月)必着
〒102-0093 東京都千代田区平河町2の8の10
平河町宮川ビル3階 公益財団法人 国家基本問題
研究所 S係
FAX 03・3222・7821 URL <http://jinp.jp>